学校番号	１００１

令和５年度　　看護科

教科	看護	科目	成人看護	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、看護や病気に関する基本的な知識を学習する。
・各自でノートを用意すること。
・講義だけでなく、視聴覚教材を用い、現代の医療における現状や課題について自分の意見をまとめたり、考察をしたりする。また、実習を行うこともある。

2　学習の到達目標

・成人の身体的・精神的・社会的特徴、生活、健康および疾病について理解し、成人の看護に関する知識と技術を習得するとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てることをねらいとする
・実技、見やすい視覚教材など工夫して発表や患者指導を行うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各ライフステージにおける生活と健康課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする。発表や保健指導について、よりわかりやすく明確に伝えようとする意欲がある。	健康課題の成り立ちや原因、予防法を根拠に基づいて表現できる。	聞いている人にわかりやすく保健指導をすることができる。指導案や準備物を丁寧にわかりやすく作成することができる。	各ライフステージにおけるライフイベントと健康課題について知識理解を深めている。発表や保健指導について、よりわかりやすく明確に伝える方法を身につける。
評価方法	健康課題発表（準備含む） 保健指導（準備含む） 指導案作成 振り返りシート 感想シート	健康課題発表（準備含む） 保健指導（準備含む） 指導案作成 振り返りシート 感想シート	健康課題発表（準備含む） 保健指導（準備含む） 指導案作成 振り返りシート 感想シート	健康課題発表（準備含む） 保健指導（準備含む） 指導案作成 振り返りシート 感想シート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	成人の生活・健康の特徴と看護	・各ライフステージの生活と健康 ・健康課題発表	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:　各ライフステージにおける生活と健康課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする。グループで協力して意見を出そうとする。 b:　健康課題の成り立ちや原因、予防法を根拠に基づいて表現できる。 c:健康課題について諸資料から情報をまとめ、わかりやすく発表できる。 d:各ライフステージの健康課題について成り立ちや原因を理解している。	グループワーク 健康課題準備、発表 感想シート
		・指導案作成について ・保健指導の展開について	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:指導案の作成方法や様々な保健指導の方法を習得しようとする。 b:　具体的な健康課題から現状を知り、見えてきた新たな課題について的確に表現している。 c:　対象と健康課題を設定し、対象に応じた保健指導計画を立てることができる。 d:指導案作成方法や保健指導の方法について理解している。	小テスト 保健指導案作成、準備 リハーサル
後期	成人の生活・健康の特徴と看護	保健指導準備	○	○	○	○	a:よりよい保健指導をするために意欲的に準備に取り組む。 b：保健指導で伝えたいポイントを明確に表現している。 c:　聞いている人にわかりやすく伝わるような工夫をすることができる。 d:わかりやすい授業、配布物は何か理解している。	保健指導案作成、準備 リハーサル 保健指導発表

		保健指導発表	○	○	○	○	a:よりよい保健指導をするために意欲的に準備に取り組む。 b：保健指導で伝えたいポイントを明確に表現している。 c: 聞いている人にわかりやすく伝わるような工夫をすることができる。 d:わかりやすい授業、配布物は何か理解している。	保健指導案作成、準備 リハーサル 保健指導発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。